

たいよう新聞

483号

4月10日発行

執行役員 静岡支店長

くにまる かずよし

國丸 和義さん

支店長対談

それぞれの支店を
それぞれの視点から

執行役員 名古屋支店長

わたなべ よしひら

渡邊 佳平さん

当社発祥の地として多角的な事業を展開する名古屋支店と、少数精鋭で地域に深く根ざす静岡支店。各支店が担う役割や独自の強み、そして人材育成に向けた共通の課題について、両支店長に率直な意見を交わしていただきました。

支店の主力・注力工種

インフラから建築まで幅広いニーズに対応

國丸 静岡支店は工事部と環境開発部の2部署体制です。工事部は推進工事とその補助となる地盤改良工事など、地下のインフラ整備を主力としています。一方、環境開発部は戸建て住宅から大型倉庫までの基礎補強を目的とした地盤改良工事や、傾いた構造物の修復などに携わっています。

渡邊 名古屋支店の工事部は、上下水道を中心とするインフラ整備の中で、推進工事、地盤改良工事、水替工事を請け負っています。環境開発部は戸建て住宅や民間企業の工場における地盤改良工事、基礎補強に加え、土壌浄化対策にも取り組んでいます。また、当社で唯一の調査部を擁し、地盤や土質の事前調査を行っているのも特徴です。

支店独自の自慢

少数精鋭のチーム力と伝統を受け継ぐ挑戦

國丸 静岡支店は当社の中で最も小規模な支店です。だからこそ、個々のチームワークはどこよりも強固だと自負しています。部署を越えて互いに助け合い、協力して支店を運営しています。また、地元密着の姿勢が強く、過去に工事を担当した社員への名指しでのリピート依頼が多いことも、大きな強みです。

渡邊 当社発祥の地である名古屋支店にとって、地元密着は昔から当然のこととして取り組んできました。既存のお客様を大切にしながら、新規顧客を開拓する活動を重視しています。歴史的に見れば水替工法から出発し、薬注工事、推進工事、そして大型重機を用いた土留工事へと、顧客のニーズに応えるべく営業品目を拡大してきた経緯があります。

現在の課題

施工体制の維持と人材育成へのアプローチ

國丸 建設業界全体に言えることでもあります。施工班の担い手不足が一番の課題です。地元開催のフェアに出展するなど、地道な採用活動を行っています。また、より高度な現場を任されるための指標となる資格取得については、業務時間内のアドバイスなどサポートはしますが、最終的には本人の意欲に委ねられる部分が多いのも実情です。

渡邊 人手不足や施工班の高齢化は、名古屋支店でも同様の課題です。採用に関しては本社が中心となり、様々な手法を用いて人材確保に努めています。資格取得については、各部長が模擬試験の採点や論文指導など手厚い支援を行っています。働き方改革による時間的制約もありますが、その中でいかに自発的に学ぶ姿勢を持てるかが重要なのではないのでしょうか。



▲名古屋支店



▲静岡支店

今後の意気込み

信頼関係の構築と理念を体現する職場づくり

國丸 社員には常々、お客様に安心して仕事を依頼していただける信頼関係を築き、「ベストパートナー」を目指してほしいと伝えています。当社の施工範囲外の案件でも、まずは一番に相談に乗れる存在であることが重要です。今期は中堅・ベテランの技術力に増員した2名の発想力を融合させ、安全安心な社会環境づくりに携わります。今後も長く地元に貢献し、名古屋支店とも連携を深められたらと考えています。

渡邊 経営理念である「働いて良かったといえる職場づくり」「社会に存在価値のある職場づくり」の実践に尽きます。全部署の無事故無災害を大前提に、顧客・社員・協力会社の「3つのニーズ」に応えることで目標を達成します。地元名古屋に根付いた地道な営業活動と確かな技術で労働環境を整えるとともに、当社のPBRとROE向上にも寄与したいと考えています。

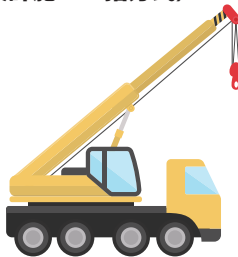
最前線レポート

朝明南污水4号幹線管渠布設工事(設計施工一括方式)

当社が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は、三重県四日市市で行われた下水道の新設工事です。山道でのカーブ推進や予期せぬ障害物への対応など、難しい条件下で無事に工事を完了させるためには、どのような工夫があったのでしょうか？

現場概要

現場名	朝明南污水4号幹線管渠布設工事(設計施工一括方式)
施工期間	2025年7月~10月
場所	三重県四日市市朝明南
発注者	四日市市上下水道局様
元請	株式会社穂積建設
現場体制	太洋基礎工業株式会社2名 他8名
施工目的	下水道の新設工事



名古屋支店 工事部
係長

Aさん



現場の特徴

3か所のカーブ推進に挑む

コンクリート製のヒューム管(直径800mm)を用いた推進工事で、推進延長は283.135mに及びます。現場は片側1車線の山道で勾配もある地中の、深さ約5mを掘り進めました。油圧ジャッキを使って機械を横向きに押し、地山を削りながらヒューム管を順番に繋げていく作業です。今回の現場は推進ルートにカーブが3か所あり、私にとっては初めてのカーブ推進工事となりました。



苦労した点

視界不良の狭小空間で挑んだ精密測量

管内での測量作業に苦戦しました。直径800mmという狭いヒューム管の中でトランシットと呼ばれる測量機器を使用しますが、管内の湿気でレンズが曇ってしまい、非常に見づらい状態での作業でした。



現場を振り返って

言葉の壁を越えたチームワークが生まれた現場

現場で施工を担当してくれた協力会社の班は、責任者以外の大半がベトナム出身の方々でした。日本語での会話は可能でしたが、細かいニュアンスが伝わりきらず、コミュニケーションに戸惑う場面も。そのため、実際の物を使ったり、身振り手振りを交えて直接指示を出したりと、伝え方を工夫しました。皆さん非常に真面目に作業に取り組んでくださり、休憩中にも積極的に話しかけるなど、コミュニケーションの取り方について私自身も多くを学ぶ現場となりました。

印象深かった出来事

掘り進める中で、地山から約700mmの大きな礫(転石)がとところどころに出現。礫を壊しながら進む際は、機械に大きな推力がかかり上昇する可能性があったため、慎重に押し進めることで、無事に完了しました。



新たな指針を胸に、結束を固める

2月から60期が始まりました。今期から、これまでの経営理念(ミッション)に加え、新たにビジョンとバリューが明確化されました。経営理念とは、当社が何のために存在するのかという根幹です。ビジョンは私たちが目指す未来の姿であり、バリュー(成長・協働・喜び)は日々の仕事における判断・行動基準となります。これら3つが揃うことで「なぜ働くのか」「どこへ向かうのか」が一本の線で繋がります。私自身、これらを日々の業務における大切な羅針盤として受け止めています。

丁寧な施工と協働が、難局を乗り越える力に

世界的な建設資材の価格高騰や、業界全体での深刻な人手不足など、私たちを取り巻く環境は決して楽観できません。しかし、コストが上がる時代だからこそ、材料を無駄にしない丁寧な施工や、一度で仕上げる確かな技術が最大の強みになります。そして、人手不足の時代だからこそ、私たちが掲げる「成長」と「協働」が、会社を前へ進めるための核心となります。厳しい環境の中でも、仲間と力を合わせて成長し、着実に歩みを進めましょう。

全員が安心して働ける職場環境の実現へ

会社の本当の強さとは、「今日も働いて良かった」と思える社員がどれだけいるかではないでしょうか。社員一人ひとりの幸福感こそが会社の土台であり、顧客からの信頼へ繋がります。そのためにも、「全員が無事に家へ帰る」ことが現場における最大の目標です。どんなに工程が厳しくても、安全だけは絶対に妥協しません。全国で働く皆様は、同じミッション・ビジョン・バリューを共有する大切な仲間です。毎朝の心を込めた「ご安全に」の言葉とともに、安全最優先の現場づくりを徹底します。

声援



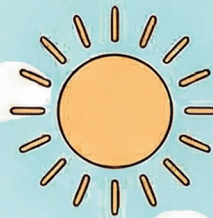
名古屋支店 工事部 副部長

Oさん



春こそ運動を！ 心身をリフレッシュする

「モーニングルーティン」のすすめ



春は冬の間に縮こまっていた心身を解き放つのに最適な季節です。とくにおすすめしたいのが、運動を軸にした「モーニングルーティン」。今回は、初心者でも実践しやすい方法をご紹介します。

無理なく始めよう！

3実践のステップ

「よし、やるぞ!」と意気込んで、いきなりハードなランニングをする必要はありません。大切なのは、眠っている体を優しく、かつ確実に起こすステップです。

Step1

ベッドの上でストレッチ

まずは横になったまま、手足をグーッと伸ばしましょう。血流を促し、筋肉に「活動時間だよ!」と伝えます。



Step2

コップ1杯の水(または白湯)を飲む

内臓を温め、自律神経を活動モードへ切り替えます。



Step3

15分の朝散歩

ウェアに着替えて外へ。春の風や花の香りを五感で楽しみながら歩くことで、脳の集中力も一気に高まります。



継続するためのコツ

◆準備

習慣化のカギは、意志の力に頼らないこと。前日の夜に運動着を枕元に出しておく。この準備だけで、朝の心理的ハードルは劇的に下がります。



◆運動後のケア

運動によって刺激を受けた筋肉は、タンパク質を求めています。そこで、朝食に卵や納豆を食べると効果的。「運動×栄養」のセットで疲れが残りにくくなり、「明日も動きたい」という好循環が生まれます。



< +α > 春の落とし穴対策

春は花粉や紫外線、急な寒暖差が気になる季節。花粉が辛い日は無理せず、室内でのスクワットやストレッチに切り替えましょう。また、春の紫外線は意外と強力です。短時間の外出でも日焼け止めや帽子で対策をすることが、長く続けるためのセルフケアになります。